

## 総合事業経営による農業と地域への貢献宣言

J A いび川は、これまでも、これからも  
総合事業経営により農業と地域へ貢献します。

協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの対話を通じて、農業者の所得増大と地域の活性化に取り組みます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

J A は、本来、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J A バンク）、共済事業（J A 共済）などの様々な事業を、営農相談や生活相談事業を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の振興や地域づくりを応援していただける方は、農業の応援団として准組合員加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で実施しているからこそ、J A の経営基盤が安定し、T A C の配置や営農施設への投資が可能です。

主な取り組みは次のとおりです。

農業への貢献では、J A と農業者をつなぐT A C を4名配置し、多様化・専門化する農業経営の向上と安定化に取り組みます。また、生産者と消費者をつなぐ「農林畜産物直売所」においては、生産者の顔が見える店舗づくりを進めるとともに、「農」に触れる農業体験等を積極的に取り組むことで地域農業の振興を図ります。

地域への貢献では、「互いに助け合う」協同組合の理念にもとづく協同組合間連携や行政等との連携による地域の活性化を図ります。

J A いび川は、これまでも、これからも、農業者（正組合員）と農業の応援団（准組合員）とともに、総合事業経営により農業と地域へ貢献することを、ここに宣言します。

令和元年6月24日

第25回 いび川農業協同組合 通常総代会